

第8回市政 e-モニターアンケート集計結果

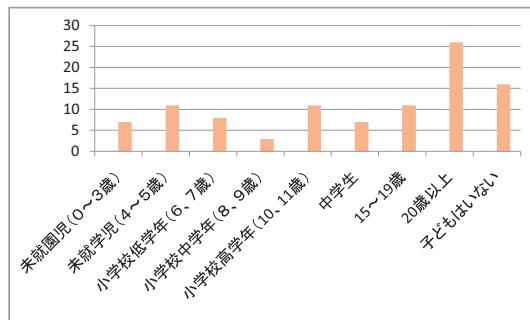
【テーマ】 子育て支援情報について

アンケート送信日 平成24年5月17日（木）（未着者再送21日（月））
 アンケート実施期間 平成24年5月17日（木）～5月29日（火）
 送信者数 208名（着信者数202名）
 回答者数 78名（期限後に回答が届いた3名を含む）
 回答率（対送信者数） 37.5% 回答率（対着信者数） 38.6%



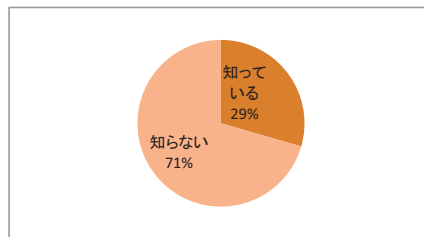
●質問1 ● お子様の年齢はおいくつですか？

	(名)
1 未就園児（0～3歳）	7
2 未就学児（4～5歳）	11
3 小学校低学年（6、7歳）	8
4 小学校中学年（8、9歳）	3
5 小学校高学年（10、11歳）	11
6 中学生	7
7 15～19歳	11
8 20歳以上	26
9 子どもはいない	16



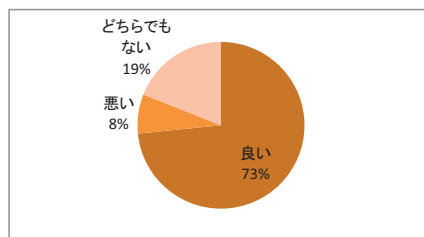
●質問2 ● 「かまくら子育てナビきらきら」をご存知ですか？

	(名)
1 知っている	23
2 知らない	55



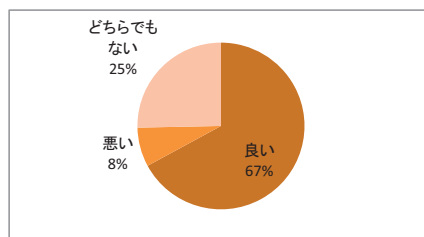
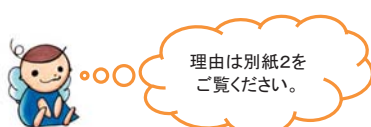
●質問3 ● 事業者との協働発行についてどのように思いますか？

	(名)
1 良い（理由： ）	58
2 悪い（理由： ）	6
3 どちらでもない（理由： ）	15



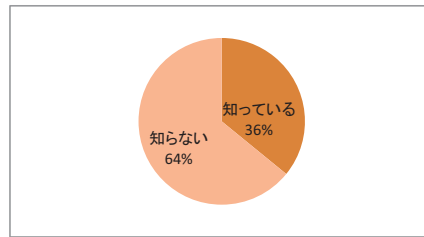
●質問4 ● 子育て支援情報誌に広告が掲載されることについてどのように思いますか？

	(名)
1 良い（理由： ）	53
2 悪い（理由： ）	6
3 どちらでもない（理由： ）	20



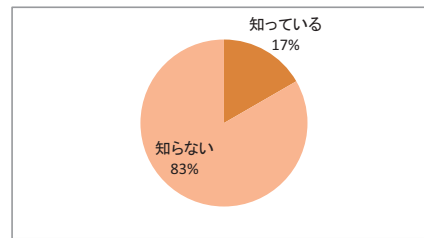
●質問5 ● かまくら子育てメディアスポットをご存知ですか？

		(名)
1	知っている	28
2	知らない	50



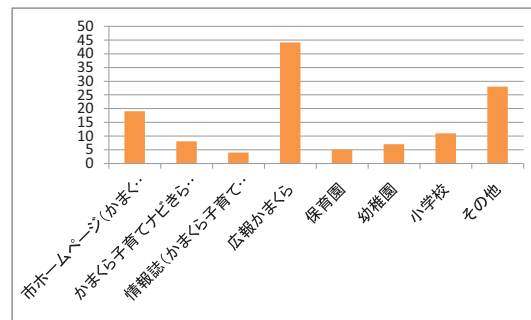
●質問6 ● かまくら子育てメディアスポットのホームページをご存知ですか？

		(名)
1	知っている	13
2	知らない	65



●質問7 ● 子育て支援情報（手続きやイベント開催など）はどこから得ていますか？（得ていましたか？）

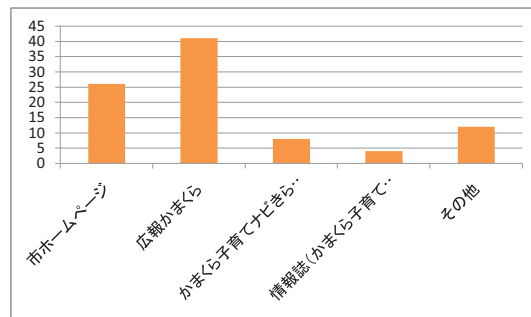
		(名)
1	市ホームページ（かまくら子育てメディアスポットホームページ含む）	19
2	かまくら子育てナビきらきら	8
3	情報誌（かまくら子育てナビきらきら以外）	4
4	広報かまくら	44
5	保育園	5
6	幼稚園	7
7	小学校	11
8	その他（ ）	28



- ※8その他
- ・ 口コミ
 - ・ 情報誌・インターネット・子育ての先輩
 - ・ 鎌倉子育てガイド、自主保育園
 - ・ 幼稚園ママのロコミ
 - ・ ママ&パパ友
 - ・ 子育て仲間 など

●質問8 ● 情報を得る方法としては、何が一番良いと思いますか？

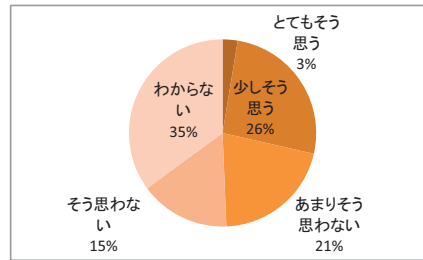
		(名)
1	市ホームページ	26
2	広報かまくら	41
3	かまくら子育てナビきらきら	8
4	情報誌（かまくら子育てナビきらきら以外）	4
5	その他（ ）	12



- ※8その他
- ・ 皆さんの見やすい方で良い。
 - ・ 口コミ
 - ・ 様々な方面から情報を得て自己責任で選択する。
 - ・ 情報伝達は複数の形式が望ましいと思います。
 - ・ スーパーや公園のほりがみ
 - ・ 年齢層、世代を超えて、広く周知することに適している。
 - ・ 希望者へのメール等によるPUSH型通知
 - ・ 「キラキラナビ」は年一回発行なので情報が古くなりがちかなあとと思います。
 - ・ いくつか選択肢がある現状がいいと思います。
 - ・ インターネット
 - ・ 子供がいるということはある程度若い人が利用すると思う。その場合、印刷物はお金がかかるのでWebで充分(パソコンを利用していると推測して)だとは思いますが更新頻度を多くしないとそのページは見向きもされないのでは、見に行こうと思うホームページを作ることが大事。など

●質問9 ● 鎌倉市の子育て支援策（子育て相談支援、保育園整備、小児医療費助成など）は充実していると思いますか？

	(名)
1 とてもそう思う	2
2 少しそう思う	20
3 あまりそう思わない	16
4 そう思わない	12
5 わからない	27



※ご意見

- ・ 現在、16～23を鎌倉で育てた経験からは、明確な支援を戴いた経験が思いつかない。
- ・ 個人での判断は難しいが、少なくとも自分の家族において不満・不足は感じません。

●質問10 ● 鎌倉市で子育てをしていて良い点（良かった点）は何ですか？（自由回答）



●質問11 ● 鎌倉市で子育てをしていて困っている点（困った点）は何ですか？（自由回答）



●質問12 ● 子育てをしていて必要な情報は何か？（何でしたか？）（自由回答）



【アンケート結果について】

この度は、市政e-モニターの皆様には、アンケートにお答えいただきありがとうございました。現在子育て中の方、既に子育てを終えられている方など、それぞれの立場からご意見をいただくことができました。

今回のアンケートで「かまくら子育てナビきらきら」をご存じの方には事業者と協働発行したこと、広告掲載について良いという回答を多くいただきましたが、市の発行物に広告を載せることの影響についてもご指摘をいただきました。来年度も引き続き事業者との協働発行を進めるとともに、公共性の担保に十分配慮するなど、ご指摘の点について留意してまいります。

また、情報を得る方法としては「広報かまくら」が最も多い回答でしたが、市ホームページや学校等の他、口コミといったご意見もあり、様々な形式での提供が効果的であると確認することができました。

市では、平成22年3月に「鎌倉市次世代育成きらきらプラン(後期計画)」を策定し、「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現を目指して子育て支援施策を推進しております。このプランの推進にあたっては、機会があるごとにアンケートを実施し、市民の皆さまから意見をいただいております。今回のアンケート結果やご意見につきましても、庁内の関係各課と情報共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。

今後とも本市の子育て支援施策について、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

こどもみらい部こどもみらい課



【お問い合わせ先】

鎌倉市経営企画部秘書広報課広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

TEL 0467 (23) 3000 内線2505

FAX 0467 (23) 8700

e-mail

emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp

●質問3● 理由

1 良い	2 悪い	3 どちらでもない
情報が多くなる	業者との癒着が心配である	それぞれにメリット&デメリットがある。どちらともいえない。
協働する事業者の選定は十分に検討すべきだが、市税を節約できるのであれば、積極的に行うべきである	提携企業優先や、業界内の牽制などにより、公平性保たれない恐れがある。	協働発行の内容がわからない
経費削減ができるとともに、子どもたちの生活環境の向上という共通目的に向けた市と事業者との連携が深まることは良いと思います。その上、外見・内容ともによりよい配布物ができることは良いと思います。なお、広告希望者が多数の場合は、地域活性化の観点から、市内の事業者が優先されると良いと思います。		事業者の選定理由がわからないので何とも言えない
品質が高まる		内容が適切であれば何れでも良い
お互いにとって良い結果が出る形での協働は素晴らしいと思います。		事業者との協働発行がどのように影響しているか判断できないため。
見栄えがよくなったのと、子育てに関心のある事業者が発見しやすいから		内容が問題
詳細不知ですが、外部専門家協業にて分かり易さ、良質な支援施策を図れば、投資効率は低くないはず		市役所の人員削減などコストカットの方法は企業とのタイアップの他にもあるとおもふ。
行政目線と事業者目線は必ずしも同じではないと思うから。		今までのものにくらべて、思いっきり広告が増えて、急に手作り感がなくなり変な感じがしました。財政的に市の負担が減るならば良いと思います。
工夫をされて市の予算が掛からずできるのは良いことだと思います。		
事業者にも市の考え方を理解してもらえ、以前の情報誌より見やすくなったから		
予算が削減でき、広告も情報になり得る。悪質な広告のフィルタができれば良い。		
鎌倉子育てガイドの内容が事実上引用されていると認識しています。		
経費低減と効率		
見やすい冊子のほうが読んでくれる人が増え役に立つと思うから		
民間の力を利用出来るところは利用すべき		
あまり費用をかけずにわかりやすいものができればそれに越したことはない。		
経費削減が実現できたこと		
レイアウトなどで、プロの技術を利用できる。情報収集能力が高いと思われる。		
民間の考えが入るから		
税金負担が減ることは望ましい		
市の財政上巴むえない		
子育てのニーズを多角的に検討できる		
相互の利益になるから。		
個人情報などの譲渡などが無ければ問題ないと思います。		
市の負担軽減になる		
馴染み易い、コスト削減		
公民一体となり知恵を絞るべきだ		
多様な視点で編集できるから。		
経費節約。但し、事業者の思惑が強く入らないようにする事に注意		
事業者の広告が、恰も市推奨の様に受け取られたり、誘導にならなければ、公費削減にもなり良い。		
専門部分は専門家に！		
予算がかからず、以前と同じ内容のものできたので		
民間のぬくもり感のある内容になるの度合いに依存する		
事業者と協働により市の負担をせずにできたので		
市の予算を使わずに済むから		
民間とのタイアップで民の強みを活かせるのであれば、良いことと思います。		
内容も費用もよくなると期待できるし、他自治体でもなされているから。		
市の予算をかけることなく発行しようという心掛けだけでも素晴らしい		
コストの節約になる		
民間の力を借りることで市財政が助かるから		
経費軽減と相互扶助になる		
情報の共有か		
今、ネットで見ました、いいと思う		
見てはいないが、多様な内容になる気がするから。一度やってみて支障があれば修正変更するべき。		
経費削減		
行政以外の考え方が反映される		
双方向の意見が集約できて良い		
市民の声を広くとるため		
あえて否定する理由はない		
きれいで、見やすくなりました。カラー写真が入っているので公園を選ぶときには参考にしやすく、全体にかわいらしい雰囲気でもみやすいです。小児科や保育園でも配布されていて手に入れやすくなったように感じます。		
経費削減には変えられない		

●質問4 ● 理由

1 良い	2 悪い	3 どちらでもない
掲載料が入る	広報にも広告がはいっていますし、公共配布物への広告掲載に抵抗はありません。ただし、広告内容のチェック、市内事業者の優先など、広告掲載にあたっての基本的なルール作りは必要だと思います。いわゆる悪徳業者の広告などを未然に防ぐ配慮は不可欠だと思います。	子育て関係の広告は問題も考えられますが、広告主に関する調査をしたらうえでスポンサーとなってもらうのは、利用者にとっても、市（市民）にとっても、また業者にとっても利益を生むことができると考えますので問題ないと思います。
市税を節約できるのであれば構わない。興味の無い人は見ないであろうから。	営利目的で作られた乳幼児向け子供向け商品の質に対して疑問を感じることもあるが、市発行の情報誌に掲載することで信用度が上がってしまう危険があると思う	費用の問題
掲載料を取るのであれば、財政的には良い	営利を目的とするものが含まれると誤解を受ける可能性が高い。	情報誌を手取るお母さんの意見によって賛否があるとと思う。ただ行政誘導的な広告は好ましくない。
子育てに関心のある事業者が知りたいから	悪質事業者などが、信用度を高めるために広告を使う危険性が考えられる	広告如何であろう。これも現物を見ていないので何とも言えない
市発行紙であっても何ら違和感を感じない。官側に利益あれば支障なし	市の広報紙という信用性をバックに、実力以上の宣伝効果をもたらすおそれがある。	気にする必要はないが、掲載企業を見極める必要がある。
子育て関連業者の広告であれば有用だと思う。		必要であれば載せても良い
予算削減には、市の税金以外の収入も必要だと思います。		致し方無い。
子育てに必要な情報を提供できる。（優良な事業者を紹介できる）		広告自体はないにこしたことはないが、それでコストが削減されているのであれば許容できるから。
子育て関連やママ向けの広告ならよい		悪くはない。内容に悪影響がなければ良い。
予算が削減でき、広告も情報になり得る。悪質な広告のフィルタができれば良い。		今までのものにくらべて、思いっきり広告が増えて、急に手作り感がなくなり変な感じがしました。財政的に市の負担が減るならば良いと思います。市の財政的負担が減るならばいいかと思いますが、あまりに広告だらけなのも、ちょっと・・・。公共の発行物なので、情報が偏るのはよくないかなと思います。
広告を吟味すれば、税金をかけるよりずっとよいと思います		
特に気にならない		
特定の業者に偏らなければ問題ない		
明らかに不適切な業種などの広告でない限りかまわない。2012年版の広告は妥当だと思う。		
少しでも収入が増えたほうが良いと思うから。		
市の予算負担の軽減が図れる。		
関連情報として取り上げることができる。		
情報入手が出来るから		
市の財政上已むえない		
広告を載せる会社は少し信頼がおけるから。		
市の負担軽減になる		
PR効果とコスト削減		
明るい、前向きな広告であれば良い		
広告も貴重な情報		
事業者の広告が、恰も市推奨の様に受け取られたり、誘導にならなければ、公費節減にもなり良い。		
経費節減に繋がる		
参考になるから		
情報が増える。ただし、特定の事業者を利用する可能性もある		
市の予算を使わずに済むので		
情報として利用できるから		
問題は無いと考えます。特に地域産業の広告であればなおのこと良いと思います。		
費用面を考えると必要。		
不快に思う広告でなければ問題ないと思います		
当然のことであるし、情報源にもなっているとされる		
費用削減		
活動資金の為		
広告も有効な情報だと思うし、その分財政負担が減るのならばいいと思う。今後広告内容を検討する必要はあると思う。子育てに直接関係な営業広告等		
良好な情報源としてなら。		
コスト削減		
情報を得る姿勢が少ない若い親御さんに良い		
コスト負担軽減では有効な方法		
子育て中の親子に理解のあるお店や鎌倉市での生活に身近なお店などの広告は違和感がありません。税金をかけずにいい情報誌が出来ればいいと思います		
生活に密着していることなら望ましい		

●質問10● 回答

自由回答
小児医療費助成は大変助かっています。
・中世だけでなく、それ以前やそれ以後も含めて、歴史ある街のたたずまいが残ること。 ・多くの神社仏閣、名所旧跡や豊かな自然環境（里山や海、ハイキングコース）に恵まれていること。 ・支所、図書館、学習センター、国宝館、県立美術館など、公共施設や文化施設が近くにあること。
鎌倉には自然がまだ残っており、また、文化財も多いため、ことども達の教育には大変よい環境と思う。
環境
子育て支援団体が多く、いろいろな活動に参加する機会があった。
市支援に関しては特段コメントなし。
都会に近い田舎な所。子供が一人で友達の家に遊びに行ける環境や自然環境。 歴史もあり日本人の心も学べる。海も近い。
現在、子育てしていないので分からない。親が、家庭での子育ての重要性（親の子供に対する関わり方）を考えるような思索を実施してほしい。
自然ゆたかな地で仲間をつくって育児をする、自主保育仲間に出会えた事。自主保育活動のおかげで、鎌倉の地域の特徴もわかり、町内会の方々と関わりを持って、孤立から救われた
自然（海、山等）や歴史のある町で子育てができる点
海も山も近いこと
自然が多く、四季を感じながら子育てができること 学校給食の放射能調査を実施してくれていること 歴史のある土地柄、地元愛を育む教育をしてくれるところ 小学生になっても医療補助が受けられること
学童保育があること
大都市に近く便利だが、自然も多いので色々なことができる。
市立の小学校、中学校が、きちんとしていた。
生活環境がよい。 高齢者が多いが、おおむね子供に対して寛容であること。 市内の医療情報や、施設は乏しいが、高度医療が必要な時は、田院への照会がスムーズに行われること。 しかし、その医療機関は、診療キャパを超えている場合が多いのが問題。
自然環境の良い所
自然環境
次男（今年38歳）が、鎌倉生まれ鎌倉育ち。 何と言っても自然の環境が素晴らしい。また、幼稚園（モンタナ）、小学校（西鎌倉小）と住宅地の子どもたちに恵まれた。 小学校では、ベテランの男性教師にかわいがられた。 小学校よりお世話になりましたが、先生方、父兄の方々共に素晴らしい方でした。
子供が小学生時代の感想
近くのお寺（今泉の称名寺）での夏合宿。虫見学。
自然が多く、子供には良い環境
自然との触れ合いが多い。
埼玉県から神奈川県鎌倉市に移住して38年が過ぎ、子育ても終了した。そこで子供達世代のための“子育て支援”（孫達世代の育成）を側面から支援する役割が祖父母世代にも課せられている。 祖父母の世代の子供の頃の経験が生かされた良い例に“ティアラかまくら”などがある。
海や山等自然が近いことと寺社建築など歴史あるまち並みに接していること
時間がゆっくりしている
山ノ内限定と思うが、円覚寺境内の北鎌倉幼稚園の存在。小学校は、時流に乗った右傾化教育もなく、自由。押しなべてゆとりを感じた。
自然・公園が多い、人が親切
自然に恵まれた環境。下品な娯楽施設が少ないこと。
近所関係の人のつながり、豊富な自然
自然や施設に恵まれ、交通の便も良い。
ほとんど使っていませんが、小学校いっぱい医療費が無料なのはありがたいです。しかし、そのため大した事じゃなくても病院にいったり、多めに薬を出してもらったりという行為もみられるので、（老人もそうですが）市の負担を減らすために、ちょっとだけ出さないといけないようにすると、やたら利用するというのが軽減されるのかな。とも思います。
狭いコミュニティーでお互いの情報を密に交換できた。 子供が参加するイベントが充実していた。
自然に恵まれた環境であること。
妻の実家に近い、自然が多い
市も何かかをやっているのだなと感じました。子育ては40年前に終えましたが、今、ホームページ、広報かまくらにも載せているのでしょうか。
環境
環境、市の理解、学校の教育方針
環境の良さ、自分が育った愛着、近隣関係の良さ、公立学校の良さなど
海、山などが近い。 キャンブル施設などが少ない。
子どもが小学生の時に鎌倉に引っ越してきた。都内渋谷区と杉並区で幼稚園時代を過ごしてきたが、鎌倉は空気がよいので感染疾患や風邪などの病気にかかることがかなり減っていた。
自然がたくさんあるところ。
幼児に対する医療費補助（所得制限なし）
一般に地域が弱体化しているといわれますが、近隣の方が親子連れによく声をかけてくれます。子育てをしていく中で、近隣の方が子どもの顔を覚えてくださったり、声をかけてくださるのはとても安心できます。
自然も多く、子どもを育てる環境はいいと思っています。
自然（海や山）がある所
1) まわりに自然が多い。2) 安全・安心通信が役に立っている。
この時代にまだまだのんびりとしているところ。

●質問11 ● 回答

自由回答
信頼の出来る小児科医院が無いこと。小児科の救急が無いこと。 自転車の練習ができるような整備された広い公園が旧鎌倉に無いこと。
・保育園の入所基準が厳しかったこと ・子育て当時、子ども手当等の補助金がなかったこと ・通学・生活道路が危険であったこと
お年寄りの子供たちへの理解が足りないように思われる。 少年硬式野球チームがないため、逗子、藤沢、戸塚などに通わなければならない、さらに、軟式・公式ともグラウンドが不足しており、藤沢市の施設を、藤沢市民にお願いして、借りなければならないという状況である。ぜひ、野球する子供たちの理解を深め、環境を整備して頂きたい。
費用 待機児童であり保育園に入れなかった。 認可保育園の保育料が高額。幼稚園の助成も低額。 子育て中の女性に対する雇用の場がほとんどない。
放射能問題。特に子供の内部被曝。 今も放射能が検出された冷凍みかんの使用を続けると市のホームページにありましたが大問題だと思います。被曝は足し算です。いつ何処で内部被曝しているか解らない状況なのに、学校給食で、放射能検査で出たものをわざわざ子供に食べさせる市の教育委員会には、空いた口が塞がりません。 子育て支援とか、言う前の問題で、子供の安全、安心の確保をお願いしたい！ また、食品から放射能が検出されたのをホームページに掲載しているだけで、児童や親への告知も無く知らない親が殆どではないでしょうか。
知らずに毒を食べさせられている状況は、直ちに改善されるべき事だと思います。 放射能対策さえきちんとしていけば、鎌倉は子育てにも、とても良い環境だと思います。 鎌倉市には国の様な愚かな対応だけはしないでいただきたいです。
メディアスポットの出来る前に子育てをしていたので、子育てガイドが唯一の口コミ情報だった。 車に乗ったお年寄り優先のまちづくりで、ベビーカーをおして歩けるような歩道は少ないし、歩道は車道に比べてがたがただし、子どもがのびのび遊べるような広い公園がないし、、、 川崎から鎌倉に越してきて失敗だったとまで思った。
他の自治体（例えば、横浜市）より子育て支援が遅れているように感じる
公園などこどもの遊び場がない
狭くって見通しの悪い通学路にもかかわらず、運転自慢のタクシーや自動車がスピードを出して走って行くところ ベビーカーが通りづらいほどの段差・歩道がないor狭い。通学時間帯だと子供がはみ出したりして危険。
小さい子連れだとバスやお店で嫌な顔をされる 気軽におむつがえや授乳ができる場所が少ない（改善されているとは思いますが） 病児保育がほとんどない
保育園が少ない
ちょっと暗くなるると暴走族だらけになるのに警察が全く取り締まってくれない。子供が怖がる。腰越、七里ヶ浜あたりで警察が暴走族に対してアクションを起こしているのを見たことは一度もないので、暗くなると帰るしかない。道が狭い&休日の渋滞のため目が離せない。津波が来た場合の避難経路がわからない。交差点に看板をだすとか、道路に矢印を書くとかして欲しい。
小児専門の高度医療機関がほしい。 ・隣市に出向くのは、移送リスクを伴う。 ・日帰り手術ができるくらいの施設がほしい。 幼稚園情報がきらきらナビの程度だと判断材料に欠ける。 居住区を選ぶ時に、小学校の特色、プールや特殊学級の併設などの情報が有ったほうがよい。なにかツールがほしい。
広場・公園・グラウンドがすくなくすぎる
両親の職場が都内で保育園が19時で閉まってしまうこと。
小学校→回りの市町村（横浜、藤沢）などに比べて教育委員会および教育関連のレベルが違いすぎる。HPを参照しても横浜市は市内小中学校の生徒向けにドリルを公開したり、また英語教育についても力を入れている。 藤沢市は教育長さんのブログ的なもので常に情報を発信している。 鎌倉市には全くそういうものがない。正直何をしているのかさっぱりわからない。 高校に入ると鎌倉市の子供と藤沢、横浜から来た子どもたちとの学力の差が激しい（鎌倉の子供は学力が低く、ついていくのが必至）と噂レベルで流れる事態が残念と言わずにいられない。 学校給食の冷凍ミカン対策についても鎌倉市は残念な対応。 子育て支援というのであれば、少しは近隣市町村の状況を少しでも確認し改善できるようにしてほしい。 （予算の都合でT&T（少人数教育）を辞めますといった残念な発言を先生から聞かないよう、必要なものはきちんと予算を出し不要な予算（市役所の皆様のボーナスとか給料とか）を減らして今までやってきたことは最低でも継続し子供のことを一番考えて対処してほしい） 子育て支援は保育園だけなのでしょうか。小学校も引き続き支援が必要なのではないですか？ 保育園→一時保育で預けたくても、あずけられる場所が少ない。
急用で子どもを預けたいときの対応
【遊び場が無い】【道路が危ない(今小路の通学)】
保育園が少ない
山ノ内には公園がない。かわりに山があるが、子供達だけでは遅くまでは遊ばせられない。 中学の教育レベルが低い。ゆとりがだらけにつながり、将来性の低い子が育つ。 道路が細いのに、陳情しても、警察はオートバイ等の規制に及び腰で、危険が多い。特に北鎌倉駅下り線側路地など、山ノ内。
子育て関連施設が古い、大船駅周辺など、車と歩行者が入り交じって危険 5歳の子がぜんそくのため定期的に通院をしているのですが 小児医療費助成が今年で終わってしまうのが辛い。
保育園、託児所、小児科医院特に夜間診療、急患対応医療費負担（小児喘息で当為j負担が大変でした） これから子育てする人たちにとっては、保育園の数が少ないこと、条件が厳しいこと。
病院が少ない。保育園が少ない。小学校区が広く、自宅から遠かった。子育て支援策が充実しているとは思えなかった。 観光客が多いので、通学が心配です。鎌倉警察署が移転するということで、その頃に息子はもう中学にあがってしまいますが、一番観光客が多く、小学生が一番多く通学しているコースの地域に警察署がなくなるのは不安です。
海で気軽には遊ばせられなかった。 子供を遊ばせるような大きな公園が少ない

<p>保育園不足 知人の子供が知能発達障害で進学校を探すのに大変困っていました。 市の施設なのに駐輪場がない学習センター利用 公立の小学校でクラス連絡網が無くなって新しい友達の親御さんと連絡が出来ない 道が狭く安心してあるけない。 子供用の施設が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の歩道が狭く、形状も悪い。道路面などへの通学路標記をもっと大きく自立させるべき。 ・近所に都市公園があっても日常的に人がいない状態なので、屋外での遊びが学校だけに限られてしまった。公園の利用方法をもっと多角的に考えるべきだと思っている。 ・中学校に給食がないこと。なぜ神奈川県で給食事業がこれほど遅れているのか。私は埼玉県での35年前の中学生だがすでに給食があった。 <p>小学校給食の放射性物質数値の自主基準がないところ。 (まだ保育園だからいいですが、2年後までに何とかなっているといいなあと思います)</p> <p>救急小児科病院が湘南鎌倉と藤沢総合しかない点</p> <p>働きながら子育てするのにいちいち課題にぶつかるところ。まず保育園探しに難航。保育所の申し込み時に市の窓口の対応に傷つく(他のお母さんに聞いても、入れないのに転居するのですか?、多分入れないと思いますけれど本当に申し込みますか?とあたりまえのように言われ、申し込むほうが悪いといった対応をされている)鎌倉市で子育てしながら働くのに《どうなるかわからないからとりあえず》といった思いで過ごすのがストレス。 このところ情報が拾いやすくなって助かりますが、上の子の子育ての開始時には子育ての情報を収集することそのものに苦労した。</p> <p>学童保育の施設や、学校の設備(プール、エアコン等)が充実していない</p> <p>1) 幼稚園の補助が小さすぎる。2) 医療費補助の年齢が低すぎる。3) 以上1と2については、所得制限はつけないべき。(命や教育は親でなく子どもの側の生きる権利であり、親の所得とは無関係に平等であるべき。)4) 教育レベル(授業時間数)を上げてほしい。世界遺産の街の子ども達にもっと教養をつけさせたいし、例えば、土曜日に授業をしてくれると習い事等を減らせるので、課経費的にも助かる。5) 夏の間は、公営公園の閉鎖時刻が早すぎる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない。 ・鎌倉駅周辺やざら鎌倉に自転車気軽に止められないので困る。有料の駐輪場も満車。 ・観光客のマナーの悪さ。観光客のための鎌倉市ではなく、市民のための鎌倉市であって欲しい。 ・図書館本館の使い勝手の悪さ(駐車場が少ない。子ども向けの本が少ない・古い。返却ポストが二階堂青少年会館に欲しい)。

「学校給食における冷凍みかんの取扱い」について

回答の中に、「学校給食における冷凍みかんの取扱い」についての記述がありましたが、市では、基準値内であっても放射能の測定数値が出ている食材を繰返し提供することに対する児童への影響を考慮すべきであるとの結論から、今年度の神奈川県産冷凍ミカンの使用を取りやめておりますことをお知らせいたします。このことにつきましては、市のホームページでお知らせしておりますのでこちらもご確認ください。
<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kisya/data/2012/20120521.html>

●質問12● 回答

自由回答
支援情報、交流情報、イベント情報
医療情報、遊び場(含公共文化施設)情報、教育情報など
支援情報。 特に、子供が3人以上いる家庭では、労働しながらでのすべての子供の学校行事参加など、親の身動きが取れない。市の奉仕活動に参加することさせてできず、お年寄りからの非難する声すら聞こえる。
制度・環境
再就職に関する情報
家庭や子育てに関する悩み相談機関についての情報
小児・児童医療支援に関わる情報
放射能問題。 海の汚染状況が情報が少なく状況を把握できず、海のそばに住んでいるのに去年は子供に砂浜で遊ばせる事すらできませんでした。
小学校の土壌検査も去年から行われていないようです。前回の検査で子供の小学校校庭の土壌から、100ベクレル以上が検出されているのに、その後検査もしていない。今現在も福島第一原子力発電所からは漏れ続けている認識が薄すぎると思います。100ベクレルは低濃度放射性廃棄物である事を重く受け止めるべきです。
保育園に行っていない小さい子どもたちが、あそんでいる、集まっている場所をしりたかった。
子育て資金、公的援助、子どもの遊び場
病院情報
防接種や小児科などの情報はもちろんでしたが、昔の子育て方法や外国の子育て方法など自分の中に芯や幅を持つための情報も嬉しかったです。
病院の情報
保育園以外の保育情報(病児保育など)
鎌倉市は人口の自然増より社会増が多い市であるので、転入者対策として、もっとわかりやすい言葉を使うべき。子どもの家、子供会館、メディアスポットなどの言葉は説明を受けないと理解できない。「普通名詞」の言葉で表した方がよい。
暴走族の取り締まり
深夜の花火の取り締まり
災害時の避難情報
地域のボランティア団体、NPOなどの開催するイベント。 公園、幼稚園、小学校などの継続して計測する放射線情報。 市内における、携帯電話基地局などからの電磁波、高圧線などの保育、教育機関からの距離の公表。近距離にあるならば、その被害防御の方法、程度など。
幼児・幼稚園・小学校・中学校・高校の各年代別の子育て情報。 出来れば各年代別の保護者に情報を届ける。 (広報を見ないのが悪いでなく、きめ細かいサービスが必要)
母親同士の横の連携が一番だと考える。 余談だが、市政モニターを2年間やり、テーマは子育て支援だった。
鎌倉市は他の市町村に比べて、保育所・幼稚園等の整備はしっかりしている一方、共働きの母親自身に対する精神的サポートや、小学校就学後の育児支援に関してはまだまだ不十分で、今後の政策により検討の余地があると思う。「子育て情報雑誌を出せばOK」とか「育児施設を整備すれば母親は幸せになれる」とかのように、行政の支援さえあれば全てが解決できるものではなく、人と人とが通い合える情報の交流や相談体制をバックアップすることが必要だと思う。
塾関係の情報と夜遅くになってしまうための防犯。
われわれの子育て(時代)には、市の情報提供等の必要性がなかった。 現在は、あまりに何でも公的機関に求め、自分で努力する事が希薄だが、真剣に取り組んでいる方への情報提供は良いことだと思う。
鎌倉子育てガイドがとても便利だと思う。 市役所の情報は事務的に最低限のことは入手できるが、役立つとは言えない。
祖父母の世代の“三歳児まで確り抱いて、降ろして、歩かせる”などの“良き日本の伝統的子育て術”等の伝承が、一世代家族の集団(団地)では無い。これらの情報等を、子供達世代や孫達世代が良き親になるためにも、“広報かまくら”や“鎌倉市子育てHP”等に積極的に掲載して発信してもらいたい。
感染症の情報
病院情報
子供を取り巻く危険な情報。(性的異常者など)生活困窮者に対するサポート情報
幼稚園や小中学校の詳しい情報。休日の乳幼児医療の情報。 通学路安全確保のための道路規制陳情・請願などの方法、等、子供の安全の形成方法。
子供服、玩具、生活用品など、子供向けの商品を買える場所。
保育園、託児所に子供を何人受け入れてくれるか夜間、急病のときのどこの小児科医院で診てもらえるか 何歳まで医療費控除が受けられるか
子供向けの文化・教養のミニ教室やアウトドア活動など。調べてみると結構あるが情報源が散在していて結局口コミが最も有力健康、食生活、あそび
こういうときはどうしたらいいかわかる情報。
ほしい情報に早くたどり着く方法
医療関係の事。こんな症状の時何科にいったらいいとか、そんな事を聞いたりする場所があるとずっと助かりました。
交流を促進するイベント情報。
医療関係の情報。
小児医療費助成の申請方法
自分の子供が「発達障害」があること最近知った。 親である私たちの勉強不足であるが、子供の時に気がついていれば・ 深い知識は必要ないが乳児から中学生くらいまでの「病氣」に関するあればあるほど嬉しく思う。
保育園、小児医療、病院情報など
地域の情報、町内会、NPO団体等の子ども参加可能なイベント情報など
病氣になったときの信頼できる医院情報。内科だけでなく、眼科、耳鼻咽喉科、歯科など。ほとんど友人を介して紹介してもらっていた。 人との関係を大切に良い情報もらえるかどうか、子育てに限らず 日常生活で大切なことだと思っている。
万が一のとき、助けてくれるところの情報。 ・子育て相談 ・おっばい外来をやっているところ(授乳中) ・鎌倉市内の小児科情報 など
病院の情報、子育て支援に関する情報、市でやっている子ども向けのイベントの情報、保育園関係の情報―入所業務の透明性の確保(議員の口利き、優先順位の不明確さ、保育料滞納者の利用の継続・・・などいろいろ言われています)
1)ファミリーサポートやベビーシッター。2)休日深夜医療 ・上の子が小一、下の子が3歳の時に藤沢より転居してきた。未就園だったため母親同士のコミュニティーを広げるためのツールを得ることができず、1年間引きこもっていた。翌年幼稚園に入園して何とか外に出られることができた。未就園児のいる家庭にもっと積極的なフォローが欲しい。